

企業会ニュース

第91号 平成26年11月14日発行
大分県自動車関連企業会事務局
(大分県商工労働部産業集積推進室)
TEL 097-506-3268 (直通)
FAX 097-506-1753
E-mail : oita@kigyokai.jp
HP <http://www.kigyokai.jp/>

お知らせ

大分県自動車関連企業会 全体会（自動車関連産業新規参入・取引拡大促進セミナー）を開催します！

来年1月14日（水）14:00～ レンブラントホテル大分で全体会を開催します。自動車関連産業への新規参入・取引拡大に関する講演や現場改善に取り組んでいる企業の成果報告、交流会などを予定していますので、是非ともご参加下さい。
なお、会員の皆様には改めてご案内します。

「九州カーエレクトロニクス展示商談会inデンソー」が開催されます！

来年1月22日（木）～23日（金）に株式会社デンソー本社（愛知県刈谷市）で「九州カーエレクトロニクス展示商談会」が開催されます。現在、九州各県から32社（内、大分県から11社）の参加が予定されています。出展の追加募集をしていますので、希望される方は11月21日（金）までに事務局までお問い合わせ下さい。

「おおいたものづくり王国総合展2015」のお知らせ

来年2月25日（水）～26日（木）にビーコンプラザで県内最大級の展示会「おおいたものづくり王国総合展2015」が開催されます。同イベントは、本県に蓄積された技術や製品を広くアピールするとともに、本県中小企業の自立化・企業間連携の促進、さらには次代を担う子ども達のものづくりに対する関心を高めることを目的に開催されます。企業会もブースを設置し、自動車関連産業の振興を積極的にPRする予定です。なお、大分県産業創造機構では現在、ブース出展企業を追加募集していますので、関心のある方は企業会事務局までお問い合わせ下さい。

12～1月のスケジュール

※ 事情により、日程が変更になる場合があります。

月日	行事名	時間	場所
12月 6日（土）	金型補修技能講習	9:30～16:30	県立工科短期大学校
13日（土）	金型補修技能講習	9:30～16:30	県立工科短期大学校
20日（土）	金型補修技能講習	9:30～16:30	県立工科短期大学校
1月14日（水）	大分県自動車関連企業会 自動車関連産業新規参入・取引拡大セミナー	14:00～19:00 (17:20～交流会)	レンブラントホテル大分
22日（木） ～23日（金）	九州カーエレクトロニクス展示商談会	10:00～17:00 23日は16:00まで	(株)デンソー本社
24日（土）	プレス金型 講座	9:30～16:30	県立工科短期大学校
30日（金）	LCI講座 報告会・修了式	13:00～16:00	県立効果短期大学校
31日（土）	射出成形金型 講座	9:30～16:30	県立工科短期大学校

活動報告

○ 管理監督者研修 現場改善指導

標記講座は、製造現場から主体的に付加価値を創出できるよう、経営者の視点で高度なマネジメントスキルを持った管理監督者を育成することを目的に7月から実施しています。このたび、受講生が各自設定した改善テーマについて講師が進捗状況を確認し、指導を行う現場改善フォローを10月に実施しました。改善テーマと進捗状況の報告会は11月21日（金）に県立社会教育総合センター（別府市）で行います。



現場改善フォローの様子

○ L C I 講座（低コスト生産設備改良講座）

機械製図の基礎から空気圧、シーケンスによる機械装置の制御など先進的な技術・技能を学び、自ら製造ラインの改善を実践出来る人材の育成を目的に今年5月に開講した標記講座もいよいよ11月で終了します。講座で養った知識や技術を実践する報告会を、来年1月30日（金）に県立工科短期大学校で開催します。来年度の参加を検討しているなど興味のある方は報告会へ参加出来ますので、希望される方は事務局までお問い合わせ下さい。



L C I 講座（シーケンス制御）の様子

○ ものづくりフェア2014（九州自動車部品相互展示商談会）

10月15日（水）～17日（金）マリンメッセ福岡で「ものづくりフェア2014」が開催されました。同フェアでは九州自動車・二輪車振興会議が主催する「九州自動車部品相互展示商談会」も併催され、個別商談会には県内から9社参加しました。

今後予定しているマツダやデンソー（追加募集中）の他にも、展示商談会の情報は随時発信しますので、その際は積極的な参加をお願いします。



部品展示コーナーの様子

事務局だより

事務局の佐藤です。

先日、株式会社ヨシカワ大分工場に研修生として働きに来ているベトナムの人たちと一緒に大分トリニータのホームゲームを観戦しました。「ベトナムはサッカーが盛んなので、研修生にワールドカップが開催された大分銀行ドームでの大分トリニータの試合を見せてあげたい。」という工場長の熱い思いから今回の観戦ツアーに至りました。

ベトナムの皆さんは若者が多く、礼儀正しさから、「きっと仕事も真摯に取り組んでいるんだな、そして彼たちがベトナムの自動車産業を支えていくんだな。」と感じました。

よく、工場見学の際に東南アジアから来た部品を加工、検査しているのを目にします。価格競争の面から、中国や韓国、東南アジアは今後更に脅威になると聞きますが、逆にアジアに近い大分、九州だからこそ、アジア各国と連携して出来るものもあるのではないかと思います。

最後に大分トリニータは現在7位、プレーオフ進出を目指せる順位にいます。残り2試合、頑張れトリニータ！